

平成 29 年度 湘南台高等学校不祥事ゼロプログラム

湘南台高等学校は、不祥事の発生をゼロにすることを目的として、次のとおり平成 29 年度不祥事ゼロプログラムを定める。

1 実施責任者

平成 29 年度湘南台高等学校不祥事ゼロプログラムの実施責任者は校長とし、副校長・教頭がこれを補佐する。

2 目標及び行動計画

本年度は、特に次の（１）から（８）の目標について重点的に達成を目指す。他の不祥事に係る案件については、最も適切な時期に、その案件にふさわしい方途で防止対策を講じる。

また、外部講師による研修会を 1 回以上開催する。

（１）法令遵守意識の向上

ア 目標

教育公務員としての自覚を持ち、コンプライアンス（法令遵守）への認識を深める。

イ 行動計画

- i 「神奈川県職員行動指針」を再確認し、職員に周知する。
- ii 不祥事に係る具体的な事例を提示し、職員間のコミュニケーション等を通して、日常的な意識啓発、注意喚起に努める。

（２）わいせつ・セクハラ行為の防止

ア 目標

人権意識を向上させ、わいせつ・セクハラ行為の未然防止に努める。

イ 行動計画

- i 事故防止会議等において、日々の言動などで不快に思われる行為の事例などを取り上げ、職員全体への意識付けを行う。
- ii 携帯電話や SNS 等の不適切な使用をしないよう、具体的な事例を提示して職員に周知を図る。

（３）体罰・不適切な指導の防止

ア 目標

生徒の人権を保障し、生徒に対する体罰や不適切指導、不適切発言を防止する。

イ 行動計画

- i 人権研修会や事故防止会議等において、体罰防止のガイドラインを配付し、職員間の意識を高める。
- ii 生徒向け相談窓口等、生徒が校内で相談しやすくなる環境を整える。

（４）成績処理及び進路関係書類の作成・取扱いに係る事故防止

ア 目標

厳正かつ確実な成績処理を行うとともに、調査書・推薦書等の発行には万全を期す。

イ 行動計画

- i 成績処理マニュアルに基づいた業務を再確認し、最終的な複数点検を徹底する。
- ii 調査書・推薦書の作成及び取扱いについては、学年・グループ及び管理職による組織的な点検体制により、事故防止の徹底を図る。

(5) 個人情報の管理、情報セキュリティ対策

ア 目標

個人情報の取扱いには最新の注意を払い、流出や紛失を防ぐ。

- i 個人情報の持ち出しは極力控え、許可書を申請する等、不適切な持ち出しを行わない。

(6) 交通事故防止、酒酔い・酒気帯び運転防止、交通法規の遵守

ア 目標

交通法規の遵守や交通マナーの向上を図り、無事故・無違反を目指す。

イ 行動計画

- i 常に安全運転をすることを職員に呼びかける。
ii 年末年始・学期末等の酒席では深酒を控えるとともに、翌日の運転も控えるよう呼びかける。

(7) 会計事務等の適正執行

ア 目標

公費及び私費の会計事務をマニュアルに沿って厳正に行う。

イ 行動計画

- i 事故防止会議等において、私費会計に係るマニュアルを配付し、意識の啓発と私費会計基準の周知徹底を図る。
ii 計画的な予算執行が行えるよう、職員全体に時宜に合った声かけを行う。

(8) 入学者選抜に係る事故防止

ア 目標

入学者選抜業務要項に基づいて、適正な業務を行う。

イ 行動計画

- i 入学者選抜関係資料作成については、複数チェックを確実に履行する。
ii 入学者選抜業務における作業手順を徹底し、入力ミスや採点ミスを防止する。

3 検証

(1) 中間検証

2に規定する行動計画について、平成29年9月末までに実施状況を確認し、取り組みが十分でなかったものについては、平成29年12月までに補完措置を講じる。また、目標達成に向けて行動計画を修正する必要がある場合は、必要な修正を行う。

(2) 最終検証

2に規定する行動計画について、平成30年3月までに実施状況を確認し、目標達成についての評価を行う。その結果をもとに、3月の事故・不祥事防止会議で達成状況の検証を行う。

4 実施結果

3(2)の検証を踏まえ、「検証結果」を取りまとめたうえで、教育委員会に報告する。

5 事務局

プログラムの策定及び実行の具体手続きについては、企画会議（事故防止会議）がこれを行う。